

平成26年4月1日から平成27年3月31日までに、特定家庭用機器再商品化法に基づきサムスン電子ジャパン株式会社が実施した再商品化等実績をご報告します。

### 特定家庭用機器廃棄物実施状況の総括（平成26年度）

	テレビ	液晶テレビ	冷蔵庫	洗濯機
引取台数（台）	8,550	1,830	6,565	5,434
処理台数（台）	8,544	1,788	6,916	5,794
処理重量（t）	239	37	437	219
再商品化重量（t）	178	33	348	186
再商品化率（%）	74%	88%	79%	85%

### 施行規則第47条第1号に基づく総括（平成26年度）

1 製品の部品または材料として利用するものに有償または無償で譲渡する状態にした場合の当該部品および材料の総重量(t)

	テレビ	液晶テレビ	冷蔵庫	洗濯機
鉄	22.0	14.6	180.4	86.5
銅	6.6	0.29	7.2	2.5
アルミニウム	0.18	1.12	0.58	3.4
非鉄・鉄等混合物	2.88	0.86	46.4	26.4
ブラウン管ガラス	78.89	0	0	0
その他有価物	48.1	13.5	104.9	54.4
有価物総重量	158.7	30.4	339.7	173.4

2 冷媒として使用されたものを回収した総重量 (kg)

冷媒として使用されていたフロン	総重量	破壊委託先に出荷した重量	破壊重量
CFC-12	144	141	139
HCF-134a	326	322	321
HCFC-22	45	44	43
R-502	36	34	34
総重量	551	541	537

3 断熱材に含まれるフロンを液化回収したものの総重量(kg)として使用されていたフロン

液化回収したフロン	回収重量	破壊委託先に出荷した重量	破壊重量
総重量	1,051	1,032	1,025

\*回収重量と出荷重量の差は在庫である

\*出荷重量と破壊重量のなかには平成25年度分も一部含まれる

\*出荷重量と破壊重量の差は破壊報告のタイムラグによるもの